

2000万円ではまだ高すぎます

上越市の制限付き一般競争入札制度で私が主張

新潟県内市町村での制限付き競争入札導入の状況

3000万円以上対象: 聖籠町
 2000万円以上対象: 長岡市
 1000万円以上: 新潟市、小千谷市、阿賀野市
 500万円以上: 燕市、阿賀町
 130万円以上: 三条市、柏崎市、新発田市、十日町市、五泉市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、見附市、村上市、糸魚川市、胎内市、湯沢町。
 金額設定なし: 津南町
 指名審査委員会にて決定: 妙高市、田上町
 未実施: 加茂市、弥彦村、出雲崎町、刈羽村、関川村、粟島浦村
 ※新潟県は1億2000万円以上。ここも改革が必要です。



市は新年度から始まる行政改革推進計画の中で、平成27年度から制限付き一般競争入札の対象を、これまでの5000万円以上の工事から2000万円以上の工事に拡大するとともに、入札時に工事費内訳書の提出を義務付ける計画であることを明らかにしました。1月16日

の市議会行政改革特別委員会でのことでした。これは昨年6月に入札契約法が改正されたこと、私たち議員団や市民団体などが運動してきたことを受けての改善措置です。先日の入札監視委員会の意見書でも一定の改善措置を求めていました。

しかし、2000万円以上に工事に限定するのでは改善としてはまだまだ不十分です。土橋総務管理部長の説明によると、県内の市で2000万円以上にしていないのは長岡市だけ、談合問題が発覚した新潟市は1000万円以上、他は500万円以上、130万円以上という状況です。上越市は改善とはいえ、まだまだ高水準です。

私は、この点を強く指摘し、「2000万円ではまだ高すぎ、県内自治体でも最高(レベル)であり、もっと引き下げるべきだ」と主張しました。

これに対して土橋部長は、まだ検討過程だとしながら、「最終的に2000万



【ひつじの絵】吉川区小苗代のTさん宅の玄関に飾られていた1枚の小さな絵。よく見たら、押し花で作られていました。ひつじの母親が子どもを励ましているのでしょうか。子どもの絵本のような雰囲気漂う素敵な作品です。制作者は柿崎区のOさん。



地酒で乾杯条例が制定されて約3カ月。推進の動きが少しずつ出てきました。写真はある宴会で出された紙。「楽しい宴は上越の地酒からはじまる」とあります。

円でもいいのかしつかり確認していきたいが、入札監視委員会の意見書を踏まえれば、ひとつの現実的な線かなと思ってい

と答えました。

土橋部長がふれた入札監視委員会の意見書というのは、昨年12月25日に提出されたもので、その「はじめに」という部分で、競争性を高める入札方式をとることと同時に、「地域経済の活性化や雇用環境の安定を見据えた地元企業に対する政策的な配慮が一定程度必要」と書かれています。この「政策的な配慮」はこの市町村でも意識してはいますが、別表の通り、県内の他市町村と比べれば、上越市がいままともようとしている2000万円という数値が高すぎることは一目瞭然です。推進計画策定の最終段階でもっと引き下げてほしいものです。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1693 2015.1.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三四一回

危機一髪

妻から聞いたとき、びっくりしました。柏崎の母（義母）がもう少しで火につつまれるところだったというのです。満九〇歳、一人で家にいる時の出来事だったので、ぞつとしました。

この日は私が千葉県での視察を終えて、夕方から長岡市に出かけていました。同じ時間帯、妻も柏崎市にある実家へ車で出かけました。方向が同じなので、帰りは柏崎で合流する約束をしていました。

すべての仕事が終わっての帰り道、私は柏崎にて仲間の車からわが家の車へと乗り移りました。私が車を運転し始めてすぐ、妻は実家での出来事を話してくれました。

この日の昼間のことです。義母が台所に立ち、ガスに火をつけたところ、炎がパツと広がったんでしょうね、義母が着ているものに火が移り、袖から肩、背中へと一気に燃えていったというのです。幸い、着ていたものを脱ぐことができ、大事にいたららずにすんだということでしたが、それにしても危機一髪でした。

数日後、義母や義兄などが長峰温泉ゆつたり郷へ行く途中、わが家に寄りました。今度は義母から直接詳しい話を聞きました。火が移った上着にはボタンがついていて、さつとは脱げなかったといいます。それでも、落ち着いて一つひとつのボタンをはずし、脱いだものは他所に火が移らないようにと、台所の流しの中に入れて消し止めたそうです。「一時はどうなるかと思っただけ、スムーズにボタンが外れてくれて助かった」と言う義母ですが、思っていた以上にしっかりと感心しました。

話は義母や母のがんばりのことに移りました。二人とも九〇歳になっているものの、大きな病気やけがをすることもなく、家の中でも外でも仕事をしてきています。わが家ではいまでも畑仕事は母の担当です。みんながたいしたもんだとほめるものですが、二人はずつと笑顔でした。笑わない顔に戻ったのは、物忘れがだんだんひどくなっ

ていくという話になった時くらいなものです。義母は、「督促状をもらっていなながら、また払うのを忘れちゃうんだよね」と言ってもまた笑いました。義母などがわが家へやってきた日、母は沢庵と白菜の漬物、それに八つ頭の煮物を用意していました。このうち、沢庵がとても好評でした。義兄などが次々と食べ、残ったものは家に持って帰ろうと言いだしました。いうまでもなく、母は上機嫌でしたし、残ったものは持ち帰ってもらいました。

よほど漬物の味が気に入ったとみえて、話題は漬物のことに集中しました。二人の母はどんなふうに残っているか、それぞれ語ってくれました。「ええっ」という声が上がったのは漬物の重しの話になった時です。一人ともたいへんな力持ちだったんですね。母は若い頃、四〇キからある石を漬物桶から出し入れしていたというから驚きです。もつとも、年をとってからは石は軽くなったようですが……。義母も最近まで一〇キの石を使っていたということでした。

話を戻しましょう。ガスの火でとても怖い思いをした義母は、その日、家に戻ってきた義兄が「あわや火事に」という話を聞いて、「何をやっているんだ」と怒るかも知れないと心配していたようです。でも、ガスの火が衣類に移って焦がしたことを伝えたとき、義兄の口から最初に出た言葉は「大丈夫か」でした。義母は妻に言いました。「とてもうれしかったさ」と。



障がい者虐待防止などでより具体的な計画を要求

厚生常任委員会が16日の午前、行われました。今回は「市障害者福祉計画」（案）の所管事務調査でした。この調査は2回目です。

「市障害者福祉計画」の計画期間は平成27年度から平成29年度までの3年間。施策の柱として、①日常生活支援の充実、②就労支援・雇用促進、③相談支援体制の充実、④安全・安心な生活の確保、⑤地域生活支援の充実の5つを据えています。今回はパブリックコメントにかける内容で担当の栗本健康福祉部が説明し、質疑が行われました。

私は計画（案）で、「福祉的就労においても、ある程度の収入が得られ、生活の支えになるような取組が必要」「虐待防止対策の充実に努める」としながらも、対策について一歩踏み込んだ具体的な記述が足りないとして、改善を求めました。栗本

部長は「言われた意見を検討していきたい」と約束しました。今後、どういう記述になっていくのか注目したいと思います。写真左は委員会で私が発言しているところです。

行革特委が我孫子市視察



行政改革特別委員会（内山米六委員長）は14日、千葉県我孫子市にて提案型公共サービス

民営化制度を視察してきました。

同制度は平成17年度からスタート。市の全事業を公開し、NPO、市民団体から提案してもらい、そこに実施してもらおう仕組みです。これまで、123件の提案をもらい、55件を採用したといいます。取組により、サービスの向上とコスト削減を実現したほか、行政の発想では生み出せなかった事業と団体の新たな結びつきなどが出たとのことでした。上越市の指定管理者制度などと比べてどうかは議論が必要です。写真は挨拶をする内山委員長です。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 1月14日(水) | 1月21日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.030 | 0.040 |
| 上越北消防署 | 0.047 | 0.057 |
| 新井消防署 | 0.043 | 0.046 |
| 頸北消防署 | 0.030 | 0.053 |
| 頸南消防署 | 0.040 | 0.047 |
| 東頸消防署 | 0.047 | 0.047 |
| 高士分遣所 | 0.040 | 0.040 |
| 名立分遣所 | 0.043 | 0.050 |